

# 保健部会

## 研究主題 養護教諭の専門性を生かした学校保健活動の充実を目指して

### 1 主題について

今年度は、個に応じた保健指導～来室児童生徒事例別対応～ということで、研究テーマを一つに決め、グループに分かれて研究を進めることにした。保健室をベースにして、日常的によくある児童生徒の対応や指導に苦慮した事例について、2カ年計画で初期の関わり方や継続的な対応について考えようと、本テーマを設定した。

### 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月10日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	7月10日	第2回保健部会 今年度の研究構想の話合い
随時	各グループごとに 研究の話合いをもち、進めた。	11月13日	第2回総合研究会 研究経過報告（中央公民館）

### 3 研究内容

研究を始めるに当たり、各校にアンケートを取った。自校の対応で困ったことがある事例を養護教諭から出してもらったところ、保健室の日常や現状が見えるような事例が寄せられた。それを内容別に分類、焦点化し、グループに分かれて取り組んでもらうことにした。そのグループは、学校規模に関係なく、あくまでも問題事例別とした。そして、養護教諭が保健室で実践し、児童生徒に寄り添う保健指導について研究をスタートさせた。

#### (1) テーマとそのメンバー構成

各グループのテーマと学校名	◎リーダー
I 「腹痛を訴えて来室する児童への関わり方」～個別保健指導～ ◎城西小 城南小 桂城小 有浦小 川口小	
II 「社会性についてのトラブルの対応を考える」 ◎花岡小 南小 東館小 扇田小 釈迦内小 早口小	
III 「頭痛で来室した男の子と、腹痛で来室した女の子について研究しよう」 ◎長木小 上川沿小 西館小 成章小 山瀬小 矢立小	
IV 「睡眠習慣の乱れにより体調不良を訴える生徒への対応」 ◎南中 一中 花岡中 成章中 下川沿中	
V 「生徒のメンタルヘルスの理解とその対応～実践力アップを目指した事例検討会」 ◎田代中 二中 矢立中 東中 比内中 国際情報中	

(2) 各グループの研究1年目の経過報告

I 「腹痛を訴えて来室する児童への関わり方」

- ・腹痛の原因を「便秘」「心因性」「冷え」「空腹」に分けて保健室で活用しやすい個別保健指導資料を作成した。

II 「社会性についてのトラブルの対応を考える」

- ・学校生活を楽しく過ごすために社会性を培い、仲間関係のスキル作りに役に立つソーシャルスキルの技法を習得させ支援を始めた。

III 「頭痛で来室した男の子と、腹痛で来室した女の子について研究しよう」

- ・腹頭痛を訴えて来室する子どもたちの基本的な対応は皆同じであるが、来室時の雰囲気やバイタルサインも含めて総合的に判断する。さらに男女児童の頭痛と腹痛の観察を深めることで、見立てや手立てを検討したい。

IV 「睡眠習慣の乱れにより体調不良を訴える生徒への対応」

- ・睡眠に関する調査票やチェックシートの作成や関わる疾病の資料の収集をしながら、日常生活指導の改善の一工夫を図る。

V 「生徒のメンタルヘルスの理解とその対応～実践力アップを目指した事例検討会」

- ・各自が事例を持ち寄り、事例検討会を実施した。その課題は、各校に共通するものであり、支援の仕方や情報交換することで力量形成につなげ、個に応じた対応を目指したい。



【見やすくわかりやすい掲示資料を作成】

(3) 指導助言(長木小学校 校長 青柳 正隆)

I フローチャートの資料が分かりやすく、他の資料も実用的である。

II SSTいい取り組みである。こうしたスキルは、是非身に付けさせたい。

III ワークショップ型の研修がよい。他の職員にも啓蒙したい。

IV チェックシートの活用は、効果的。今後の研究に期待したい。

V 検討会の持ち方に共感できる。根気よく、継続してほしい。

(弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子)

I 心因性か疾病か分けて対応する。また不適応もあり、どう引き出すか大事。

II 自他の感情に気付かせ、解決スキルを身に付けたい。全校体制の取り組みに。

III 子ども自身に分析させてみて、それにどう対応するかが問題。方法は色々ある。

IV どんな状態にあっても楽しみな時は、起きられる。視点を決めて分析をする。

V アセスメントは、見立てが大事。手立てと違う。リソースが大切である。

(4) 講話「学校不適應の理解と養護教諭の役割」 弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子

- ・養護教諭の今日的課題に適したニーズの高いお話をしていただいた。さらに市教研の研究にも示唆していただける内容で、分かりやすく説得力があり、小玉先生の日々のエネルギーも肌で感じられるものであった。また、参加者の感想も好評であった。講話の骨子は、下記に示す内容であり、研修に相応しい時間をいただくことができた。

①社会性と適応

適応とは、学校・教師・家族・友人……

②非社会的な不適応行動の理解

③反社会的な不適応行動の理解他



【講話の様子】